

「鹿浦小学校の徳之島島唄・三味線の伝承活動の取組」

1 学校名

伊仙町立鹿浦小学校

2 学年・人数

1年生から6年生（計22人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

○ 平成28年4月26日（火）～平成29年3月14日（火）

火曜日：朝の活動【全校三味線】放課後【三味線教室】（鹿浦小学校）

(2) 発表の日時・場所

○ 平成28年4月23日（土） 校区歓迎会（校区生活館）

○ 平成28年5月32日（土） 奄美群島PTA総会（ほーらい館）

○ 平成28年6月5日（日） 校区豊年祭り（校区生活館）

○ 平成28年6月12日（日） 徳之島子ども文化祭（徳之島文化会館）

○ 平成28年7月13日（水） 芸術家派遣事業講師と共演（鹿浦小）

○ 平成28年9月10日（土） 介護老人保健施設敬老会（サザンコート）

○ 平成28年9月15日（木） 校区敬老会（校区生活館）

○ 平成28年10月22日（土） グループホーム敬老会（天望台）

○ 平成28年10月30日（日） 鹿浦小学校学習発表会

○ 平成28年10月29日（土） 特別養護老人ホーム夏祭り（仙寿の里）

○ 平成29年2月19日（日） 島口を使う日イベント（伊仙町公民館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

徳之島島唄・三味線

(2) 由来

奄美地方には，島それぞれに古くから伝わる民謡（島唄）がある。ここ徳之島地方にも，全島域で唄われている歌のほかに，地域ごとに伝承された唄，町単位で作られたものなどがある。本校においては，平成21年度より学校として三味線の購入をすすめて，活動時間を設定したうえで，伝統芸能としての徳之島島唄・三味線伝承活動に取り組んでいる。

(3) 構成等

基本的に全児童が三味線を1人1竿持っており，三味線を弾きながら島唄を唄う形式で取り組んでいる。習熟が十分でない低学年や転入生については，三味線の練習を継続的に行いつつ，発表の場では島唄のみの発表としている。また，曲によっては，「ていこ」と呼ばれる太鼓を使うこともある。

5 保存会や地域との連携の具体

本校区内の「島唄・踊り同好会」から2名を講師として招き毎週火曜日の放課後「三味線教室」の時間に指導を受けている。練習内容と練習方法については，担当職員と講師が打ち合わせを行い，決定するようにしている。

6 文化財伝承・活用の取組みの工夫した点

本活動の発表の場としては、①学校行事、②校区行事、③島内（町内）老人ホーム等のイベント（ボランティア）、④町内（島内）文化的行事で演奏を行っており、練習の成果を発表するとともに、活動への理解を深められるようにしている。また、学校行事（PTA活動）として行われる学習発表会やクリスマスコンサートなどの発表の機会には、校区民への広く周知を図り、発表の様子を見に来ていただくようにしている。

7 取組の様子



普段の練習の様子



芸術家派遣事業における講師とのコラボ



校区行事における演奏



老人ホーム等での演奏

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【参加児童生徒】

- ・ 練習したことを多くの人前で発表し、拍手をいただいたり励ましてもらったりすることで、自信がついてきた。

【教職員・保護者】

- ・ 多くの発表を経験することで、他校との交流や他の発表機会においても堂々と自分たちが取り組んできたことを発表できるという成果を実感している。また、このような活動を通して、学校や校区の活性化にもつながり、意義のある活動であるととらえている。

【同好会】

- ・ 地域や集落に伝わる伝統芸能が継承者不足に陥っている。子どもたちがこのような活動を行うことで、将来的に地域に根ざし継承していってくださることを願っている。今後もできる限りの協力を惜しまず、伝承に向けて取り組んでいきたい。